

※記載例を参照の上、ご記入ください。

### (様式第3号)

企業・団体名（ 株式会社信濃車輌 ）

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）（R5.11.30変更）

項目番号	力テゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
							1 人権・労働	2 環境	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			雇用、教育、登用、福利厚生などあらゆる条件で、差別のない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7			
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			ハラスメントの禁止を就業規則に明記し、相談窓口の設置 管理職を対象に研修を実施している。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1				
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			終業規則に沿った労働時間の厳守を実施している。労働基準法等の関連法規は、社労士から指導を受けて共有している。							8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			現在、外国人労働者は採用していないが将来、採用する場合は労働条件や職務内容において日本人との差別を行わないよう周知徹底させる。			4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			安全衛生推進者、作業主任者を選任し、事故防止に取り組んでいる。 毎日の清掃、整理整頓を実施。事故リスクを回避。		3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			メンタルヘルス担当者を選任し、必要に応じて佐久産保センター相談員の助言を受けながら、心の健康づくりの計画の企画、教育研修等の実施を行っている。		3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			定年後も就業可能な職場環境整備を行い、高齢者がいきいきと働く環境を整えている。 女性社員の制服を廃止し、事務服の自由化している。				5.1 5.5			8.5 8.8		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			職務や役割に応じた定期的研修会に参加できる環境を整えている。 資格取得の為の金銭的な補助をしている。			4	5.5			8 9										
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			パートタイム労働法、労働法などを十分に理解し、労働環境整備への取り組みを行い、同一労働同一料金等の原則に沿った対応をする。				5.5			8.5 8.8		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			従業員への投資による生産性向上等に取り組み、2022年～2025年 健康経営優良法人認定を取得		3					8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			廃棄物の数量などの管理を適切に行い、廃棄物は産廃資格、ISO認証取得業者に委託してマニフェスト通りに処理を行っている。									11.6 12		14.1						
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			自社の使用燃料量、水道光熱費の使用量を把握し、エコ活動に取り組んでいる。						7.3				13							
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			自社の温室効果ガスの排出量の抑制に取り組む為、社有車を環境基準適合車、HV、EV、PHEV車に変更していく。				7.2 7.3					12.4 13.3								
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			塗装整備において、有機溶剤作業主任者を選任し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。 有機溶剤取り扱い者には特定健康診査を受診させて健康管理をしている。			3.9		6.3				11.6 12.4								

項目番号	力テゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			生態系に悪影響を及ぼさないように、油水分理想を通して工場排水を適切に処理している。							6.6									15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			中古部品やリサイクル部品を使用し、再利用できる物は活用している。															13	14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			水道使用量や料金などを把握し、使用量削減に取り組んでいる。						6.4	6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)							3.9		6	7							12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)																		12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			工場に太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)																	12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			就業規則に明記し、社内に周知徹底をしている。																16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			就業規則に明記し、社内に周知徹底をしている。																16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			現在、取り扱いなし。										8.2	8.3	9							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			自社ホームページにて「個人情報保護方針」を公表し、個人情報を適切に管理している。																16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)																				16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)										5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： <a href="https://www.biz-partnership.jp/">https://www.biz-partnership.jp/</a>	基本(必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表を今後検討していく。			3							8	9	10						17	

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			安全性が確保されている製品を取り扱っている。 サービスの安全性を確保する為の研修会、自社勉強会を実施している。				3.9										12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			品質管理や保証が徹底されている企業との取引を前提としている。 顧客からのクレーム対応や社内での情報共有の仕組みを構築している。									9										
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			環境に配慮し、環境基準適合車、EV,HV,PHEV車の販売促進に取り組む。					6									12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			交通事故死傷者削減に向けた取り組みとして、安全運転支援装置を搭載する車両の販売をする。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			地元高校生の職場体験の受け入れをしている。 地域の活動に積極的に参加、協賛している。				4					9		11	12		14	15		17		
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			地域のボランティア活動として、重機使用による除雪作業を行っている。				4									11		14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ(任意)													8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			毎朝の朝礼時、経営理念の唱和を行っている。 経営目標を社内で共有している。									8	9								17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本(必須)			朝礼時や社内会議で法令遵守の重要性を従業員に周知徹底している。																		16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本(必須)			経営者が役割を明確にして、責任者、CSR管理者を任命している。																		16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本(必須)			適正ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握して満足度向上に取り組んでいる。																	16	17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ(任意)																						16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ(任意)																						16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ(任意)															9		11	13	13.1			16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ(任意)														8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定